

製品名: NIT1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87714**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,FC 1:20-1:50,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:36 kDa; Observed MW:35 kDa

抗原情報

遺伝子名	NIT1
別名	Deaminated glutathione amidase; dGSH amidase; Nitrilase homolog 1
遺伝子ID	4817
SwissProt ID	Q86X76
免疫原	ヒト NIT1 の合成ペプチド

背景

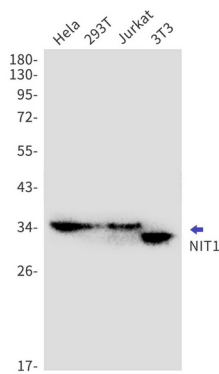
この遺伝子は、細菌および植物のニトリラーゼと相同性を持つニトリラーゼタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。

ニトリラーゼは、ニトリルと有機アミドを対応するカルボン酸とアンモニアに分解する酵素です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2010年6月]

研究分野

-

画像データ



NIT1 抗体 (1:1000 希釈) を使用した HeLa、293T、Jurkat、3T3 細胞溶解物中の NIT1 のウエスタンブロット検出。